

BYD、京成グループの千葉交通に大型 EV バス「K8 2.0」を納入 1月29日（水）より成田営業所管内の路線で運行開始

ビーワイディージャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：劉 学亮、以下：BYD ジャパン）はこの度、京成グループの千葉交通（本社：千葉県成田市、社長：宮本 貴史）に、BYD の大型 EV バス「K8 2.0」を4両納入し、同社の成田営業所管内の路線で2025年1月29日（水）より運行を開始します。



千葉交通・成田営業所管内の路線で運行を開始する BYD 大型 EV バス「K8 2.0」

「K8 2.0」には、アラウンドビューモニターが設置され、運転士の安全運転をサポートするほか、スマートフォンなどの充電用 USB ポートを増設したことで、お客様には長時間でも快適なご乗車を提供できます。

BYD の EV バスシリーズ*¹は、車載バッテリーに充電された電力のみで走行します。これにより、走行中に CO²などの温室効果ガスを排出することがなく、環境負荷を最小限に抑えることができます。また、EV ならではの優れた静音性や振動の少なさにより、周囲の住民や乗客にも快適でクリーンな移動を提供できます。

BYD はグローバルで累計約9万台の EV バスを納入しており、世界中の公共交通の電動化を後押ししてまいりました。BYD の日本法人である BYD ジャパンは、2015年に中国自動車メーカーとして初めて日本国内で EV バスを納入して以降、日本市場向けの小型 EV バス「J6」や、路線バスとして最適な 10.5m の大型 EV バス「K8」などを展開。日本国内で 350 台*²の EV バスを納入し、国内 EV バス全体の 7 割強を占めるなど、日本各地で交通インフラの要としての役割を果たしています。



PRESS RELEASE

*1 小型 EV バスの「J6 2.0」、中型 EV バスの「J7」および大型 EV バスの「K8 2.0」の3モデル

*2 2025年1月29日現在

運行の概要

1. 運行開始日及び運行エリア

- (1) 2025年1月29日(水)より運行開始
- (2) 成田営業所管内(成田市、香取市、八街市、富里市、栄町)

2. 運行車両

BYD 大型 EV バス「K8 2.0」(定員 79 名 ※乗務員席除く)

3. バスのデザイン(車内外)

- (1) 美しい青い空を守る最新テクノロジーをイメージ(2両)



- (2) 地域の皆様になじみのあるこれまでのデザインをベースに電気の力で颯爽と駆け抜けるバスをイメージ(2両)



PRESS RELEASE



【ビーワイディージャパン株式会社について】

2005年にBYDの日本法人として設立したBYD ジャパンは、EVバスをはじめとする電気自動車事業のほか、ソーラーパネルや産業用の蓄電システムなどの環境エネルギー事業を国内で展開しています。BYD ジャパンは、今後も革新的な技術によって地球環境に配慮した製品・サービスを開発し、社会と人々の生活に寄り添った事業を展開してまいります。

社名	ビーワイディージャパン株式会社（英名：BYD JAPAN Co., Ltd.）
本社所在地	神奈川県横浜市神奈川区金港町1番地7 横浜ダイヤビルディング 19F
事業内容	電気自動車事業、環境エネルギー事業、ITデバイス事業
代表取締役社長	劉 学亮

【BYD グループとは】

BYD グループは、中国・深圳に本社を置くグローバル企業であり、環境に優しい世界を追求するためのイノベーションを提供しています。1995年にバッテリーメーカーとして創業したBYDは現在、ITエレクトロニクス、自動車、新エネルギー、都市モビリティといった多様な領域で事業を展開しています。特に自動車分野では、現在6大陸、90以上の国と地域、400以上の都市で電気自動車を展開しており、独自の技術で開発したブレードバッテリーやe-Platform 3.0といった最先端のテクノロジーを強みにしています。また、世界的に高まりつつあるEVシフトに先駆け、新エネルギー車（EV、PHEVを含む）の生産を積極的に進めたことで、世界でもトップランナーとしての躍進を始めています。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2025年1月30日（木）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

以上